

70 Pedal-BC User Manual



各コントロールについて

Volume	音量を調節します。
Mids	時計回りに回すと、ミッドレンジとゲインが追加されます。Mids は、ギターとアンプの設定を微調整し、ライブバンドでのカットスルーを可能にします。反時計回りに回しきると純正 Fuzzface のサウンドが味わえます。
Fuzz	このノブを時計回りに回すと、歪みとサステインが増加します。オリジナルの Fuzzface のように、このノブが 3 時くらいになるまでは何も起こりません。 注意: "Mid" と "Gain" ポットを回している間、パチパチというノイズが入るかもしれませんが、製品不良ではありません。
ON/OFF Footswitch	オン / オフを切り替えるスイッチです。

入出力について

INPUT	1/4" モノラル標準フォン入力端子
OUTPUT	1/4" モノラル標準フォン出力端子

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9 ~ 18VDC センターマイナス 電源で動作します。

内部 BIAS トリマーについて

ペダルのレスポンスに影響を与える内部トリマーがあり、ソフトからファームまで、また全体的なコンプレッションとトランジェント・レスポンスを変化させます。

時計回りに回すと、よりソフトに、よりコンプレッションします。反時計回りに回すとラウドネスが増し、トラッキングが速くなり、ボトムエンドが増します。

※設定レベルによっては音が出ない、場合によっては製品破損につながる場合がございますので調節の際は少しずつ慎重に行なってください。

70 Pedal-BC について

1970 年頃のオリジナル FuzzFace を弾いたことがあるだろうか? (ヒント: 現在大量生産されている同じ名前のものと全く同じ音ではない)。意図的に mismatch させた 2 つのシリコン・トランジスターが搭載されており、唸り、吐き出す制御不能な暴君。Fuzz を 10 にすれば、リップリングが起こり、様々な発振や奇妙なサウンドが得られるかもしれない... しかし、それこそがロックだ。ワウと一緒に使うことは困難を極めるだろう..... ジミもそうだったが、悲鳴やハウリングなしに使うことはできない。礼儀正しく静かなのがいいのか? 他を当たれ!

箱の中のアートがお望み? どうぞお入りください。

16 ゲージのスチール・ボックスに収められ、ディープ・ブルーのパウダー・コーティングが施されたこのペダルは、少々手に負えないが、温かみがある... 古い 4 インプットの Marshall アンプと理想的なマッチングで、69 年製ペダルよりもはるかにファズ感があり、ミッド・コントロールを搭載しているので、さらに明瞭でカットされたサウンドが得られます。

私は、エリック・ジョンソンが Tones から Ah Via Musicom 時代まで使用していた Blue Fuzzface (現在はイアン・ムーアが所有) を手に入れ、その音色の秘密を '70 ペダルに組み込み、驚異的なサウンドを実現しました。